



発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

竹風鈴作りに挑戦中！(8/28 竹クラフト講座)

スズメバチなどのハチに注意！

働きバチが増えるにつれ、ハチの活動が活発になってきています。10月までの間は、特に攻撃性が強くなりますので、散策中に知らないうちにハチを刺激して怒らせてしまわないよう、十分気をつけましょう。

○黒い色はなるべく避ける

ハチは黒くて動くものに反応して攻撃します。森の中を散策する時は、なるべく白い服を着て白い帽子をかぶりましょう(頭を刺される場合が多い)。

○騒がない・手で振り払わない・走らない

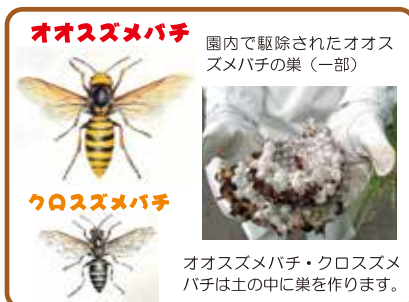
ハチが寄って来ると、つい悲鳴を上げてしまったり、手で振り払ったり、走って逃げたりしてしまいますが、ハチは大きな音や素早い動きに対して敏感です。攻撃されたと思って反撃してきますので、ハチが寄ってきたら頭を隠して低い姿勢を取り、じっと動かさずハチが去るのを待ってから、ゆっくりとその場を離れましょう。

県民の森名木紹介 vol.22 ケンポナシ



深緑でツヤのあるやや大型の葉を付ける木で、目立ちにくいのですが、黒褐色で不規則にハガれる木肌で、判別は比較的容易です。この、目立たない木も秋につける実は奇妙な形ながら、レーズン似の味は、意外なほどのおいしさです。

園内に普通にありますが、写真は記念館北の三叉路の谷側にある、園内最大級のもので、(工藤)



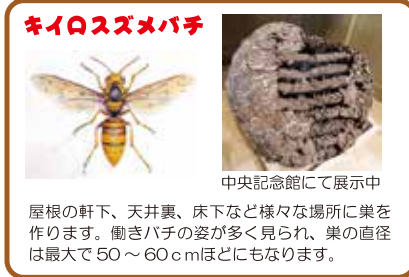
オオスズメバチ

園内で駆除されたオオスズメバチの巣(一部)

クロススズメバチ



オオスズメバチ・クロススズメバチは土の中に巣を作ります。



キイロスズメバチ



中央記念館にて展示中

屋根の軒下、天井裏、床下など様々な場所に巣を作ります。働きバチの姿が多く見られ、巣の直径は最大で50～60cmほどにもなります。

※万が一ハチが大群で襲ってきたら、タオルなどで振り払い走って逃げて、すぐに管理事務所へお知らせください。



台風でも開館しているよ！

いつもご来園ありがとうございますのコーナー 利府町 Nordic Walking "歩こう会" のみなさん

県民の森をノルディックウォーキングコースにご利用頂いております。会員数は80名以上いらっしゃるそうです！

ブログでは、園内の様子がきれいな写真で紹介されていますので、みなさんチェックしてみてください！

→ 利府町 歩こう会 で検索！



今月のけんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのひとコマ



キバナアキギリ(シソ科) 黄花秋桐 名前は葉が桐の葉に似て、秋に咲く花が黄色なので、黄花秋桐です。学名はサルビアで外国産サルビアの仲間です。花の少ないこの時期、この黄色の花が咲くと秋を感じます。(駒野)



ツリフネソウ(ツリフネソウ科) 釣舟草

名前の由来は花柄の先に釣り下がついて咲く花の姿を花器に、釣舟に例えたものです。独特な花の形をしています。花の奥の渦巻状の距(きょ:花びらや萼の付け根にある突起部分)の中にマルハナバチ用の蜜がたっぷり入っています。写真の花は終わりがけです。(駒野)



シロオニタケ(テングタケ科) 白いイボが鬼のツノのように見えることから名付けられました。写真は成菌ですが、幼菌時の姿はまんまるのトゲトゲで、本当にツノがついているように見えます。毒キノコですので注意。(入岡)



ウスバキトンボ(トンボ科) 全体に淡い黄土色の体と、胸にアカトンボ類のような黒くて太い模様が特徴です。なかなか止まってくれませんが、止まるときはぶら下がるような縦姿勢で止まります。(入岡)